

事業の継続法を指南

ソーシャル
ビジネス 多治見市でセミナー

社会問題の解決を目指すとしたソーシャルビジネスの運営方法を学ぶセミナーが、多治見市虎溪山町のとうしん学びの丘エールで開かれた。経営コンサルティング会社トライフィット(各務原市)専務の安藤摩里さんが「やりがいだけでは続かない!ソーシャルビジネスを続ける方法」と題して講演した。

日本政策金融公庫多治見支店、東濃信用金庫、多治見市、多治見商工会議所などで構成する多治見ソーシャルビジネスサポートネットが開き、ソーシャルビジネスの事業者や起業を目指す人ら24人が受講した。

安藤さんは女性の子育てや起業を支援する取り組みのほか、行政の補助金や受託事業に頼らない事業運営の事例を紹介。参加者に事業継続の課題を書き出してもらい、「主な課



セミナーで事業継続の課題を話し合う参加者＝多治見市虎溪山町、とうしん学びの丘エール

題は人、資金で、継続何ができるのか。外部にはプランが重要。な環境はどうかを明確にせ、そのプロジェクトすることが大事」と助をしたいのか。自分に言した。(野中準二)